

平成30年(2018)
2月1日

目次

年頭のごあいさつ	2
常任委員会報告	3
行政視察報告	5
代表質問	6
一般質問	9
議会だよりモニター通信	15
審議結果(議案)	16

す わ
市議会だより

諏訪市議会議場の様子

12月 定例市議会

平成29年12月定例会は、11月27日から12月13日まで行われました。

今定例会では、5件の報告と、承認1件、議案12件が審議されました。

11月27日 本会議(議案説明)
28日 休会(自宅審査)
29日 休会(自宅審査)

30日 本会議(議案質疑、付託)
12月4日 本会議(代表・一般質問)
5日 本会議(一般質問)
6日 本会議(一般質問)
7日 常任委員会
13日 本会議(委員長報告、採決)

平成三十年 年頭のごあいさつ



諏訪市議会

議長 金子喜彦

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新年を迎えられましたことと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から市議会に対しまして、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は市民の皆様の長年の懸案事項であった駅前開発、柳並線の延伸、国道バイパス、スマートインターチェンジ等に、将来のまちづくりに向けた進展が見られました。少子高齢化、人口減少が進む中、地方分権により、市の権限が大きくなっております。立地適正化計画及び都市計画マスタープランによる生活・交通弱者のないコンパクトなまちづくり、極端な気象変化に対応できる安全・安心なまちの実現を、議会としましても市民要望を的確に把握して、積極的に提案してまいります。議決機関であり、行政へのけん制・監視役である議会の責務を自覚し、議員自ら条例を提出するなど、市民の負託に応えられる議会として全力を尽くしてまいります。皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となり、健康で幸せな年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



諏訪市議会

副議長 伊藤浩平

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市議会に対して温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

開かれた議会を目指して、全国の各地の議会においては、昨年7月より「議会だよりモニター制度」を開始しました。モニターの皆様から様々なご意見をお伺いしながら、議会だよりを手にとって読んでいただけれるもの、分かりやすいものとなるように取り組んでいる最中でございます。昨年11月1日発行の議会だよりからモニターの皆様さまよりいただいたご意見を掲載させていただいております。その他にも様々な議会改革を行い、市民の皆様さんにより分かりやすい、開かれた議会となるよう目指して取り組んでおります。これからも市民の皆様さんと共に、安心して暮らせる諏訪を目指して尽力して参ります。

最後に本年の皆様にとりましてより良い年となりますことと、皆様のご健勝とご多幸をお祈りして年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

議案審査 総務産業委員会

12月定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 増澤 義治

工事請負契約額の減額変更！橋梁長寿命化事業費の補正も



◎議案第48号 諏訪市営住宅等に関する条例の一部改正について

議案の内容

公営住宅法の改正により、家賃の決定の際、入居者が認知症患者・知的障がい者等で収入の申告が困難であると認める場合は、当該入居者からの申告によらず、公的書類の閲覧等により収入状況を把握した上で家賃を決定することが可能となる。

主な質疑

問 認知症の特定はどのようにするのか。

答 医師による診断書等によって判断する。

問 判断がつかない場合は。

答 診断書が無い場合はケースワーカーの聞き取り等によって判断する。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

◎議案第49号 工事請負契約の変更について

議案の内容

平成28年9月定例会において議決をした諏訪市防災行政無線デジタル化整備工事について、設置するスピーカーの関連機器の見直しや、市内90地区への戸別受信機の配備など一部を変更して施工するため、工事請負契約を減額変更するもの。

主な質疑

問 スピーカーの関連機器に関して、当初の仕様書で確認ができなかったのか。

答 入札の結果、落札したメーカーのスピーカーには当初想定していた機能がなくても良質な放送が可能であることがわかった。そのため不要な機能を外したスピーカーに変更する。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

◎議案第50号 平成29年度諏訪市一般会計補正予算(第4号)

議案の内容

補正額は、1億6291万2千円増額され、総額は208億3309万5千円となる。主な内容は

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

別表の通り。道路改良事業費は、社会資本整備総合交付金の2次要望に伴い、1000万円の補正。

※その他の議案については、裏表紙の審査結果をご覧ください。

項目	増減金額	補正後の金額	主な内容
総務費	1220万円増	28億5486万2千円	<ul style="list-style-type: none"> 市税還付金 1220万円 (通常還付分600万円、住宅用地認定誤り等による還付及び過誤納賠償金620万円)
土木費	3600万円増	28億556万8千円	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良事業費 1000万円 国の2次補正の事前申請の打診に対する申請に係る費用 橋梁長寿命化事業費 2600万円 (国庫支出金1430万円、一般財源1170万円) 県内残額交付金の再募集に対する申請に係る費用

議案審査 社会文教委員会

12月定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 森山 博美



障がい者訓練など、障がい者にやさしいまちを目指して



◎議案第47号 諏訪市手数料徴収
条例及び諏訪市印鑑の登録及び
証明に関する条例の一部改正に
ついて

議案の内容

証明書等の取得がコンビニ以外
の市町村で運営する多機能端末機
でも可能となる。

主な質疑

問 多機能端末機を市庁舎等に設
置する考えは。

答 周辺にコンビニが多数あり、
機器も1台600万円ほどするの
で、設置は考えてない。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

◎議案第50号 平成29年度諏訪市
一般会計補正予算(第4号)

議案の内容

主な内容は別表の通り。訓練等
サービス給付費は、障がい者等の
就労継続支援給付費の利用者増加
に伴い増額補正される。教育費に

ついては補正額は0だが、平成30
年度以降のA.L.T(外国語指導助
手)の業者選択を※プロポーザル
方式で行うため、29年度〜32年度
までの※債務負担行為を設定す
る。

※プロポーザル方式：委託先等の選定の
際、複数の者に企画を提案してもらい、
優れた提案をした者を選定する方式。

※債務負担行為：地方公共団体が将来に
わたる債務を負担する行為。あらかじめ
予算の内容として定めておかなければ
ならないもの。

主な質疑

問 障がい者の人数の動向は。

答 増加傾向で、精神の障害手帳
を持つ人が増えている。

問 グループホームの現状は。

答 45名で30日利用の見込みで
あったが、現在は50名以上。

問 こまくさ会への県補助金額
は。

答 補助金基準額は62万1千円
×29人(床)で、計1800万9
千円の補助金となる。

問 A.L.Tをプロポーザル方式に
する理由や契約期間は。

答 事業内容、指導カリキュラム

や研修体制を考慮した。3年間契
約する。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

※その他の議案については、裏表紙の審
査結果をご覧ください。

項目	増減金額	補正後の金額	主な内容
民 生 費	1億 3441万 1千円増	68億 8808万 7千円	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険会計繰出金 4889万1千円 国民健康保険基盤安定負担金の額の 確定に伴う繰出金 訓練等サービス給付費 2200万円 利用者の増加に伴う費用 地域生活支援事業費 93万3千円 障害者総合支援法の改正に伴う給付 システムの改修のための委託料 一般経費 124万3千円 福祉医療費の現物給付方式導入に向 けたシステム改修のための委託料 一般事業費 3601万8千円 こまくさ福祉会に28年度分の補助 金を交付したが、要件を満たさな くなったための県への返還金と、29 年度分の補助金の補正 後期高齢者医療広域連合関係経費 2445万5千円 医療給付費及び事務費負担金の確定 による負担金 後期高齢者医療会計繰出金 87万1千円 後期高齢者医療保険基盤安定額の確 定による費用

行政視察報告

総務産業委員会

平成29年10月11日(水)～13日(金)

■視察地とその内容

宮崎県宮崎市：「公設地方卸売市場について」「包括的連携協定について」

宮崎県都城市：「公設地方卸売市場について」「ふるさと納税について」

鹿児島県鹿児島市：「空き家対策について」

他市における公設卸売市場の現状と対策について、宮崎市の中央卸売市場と都城市の公設地方卸売市場を視察しました。両市場とも、取扱高減少、経営悪化に悩んでいましたが、都城市では行政主導で指定管理者制度に移行し、黒字化を達成しています。このことは選択の1つとして有効だと思いました。

次に、宮崎市の地方創生に向けての大学、銀行、民間企業等との「包括的連携協定」について勉強してきました。非常に中身が濃く、人事交流まで実施、意欲的に取り組んでおり参考になりました。

また、都城市では2年連続日本一の「ふるさと納税」の取り組みについて勉強してきました。2年間で115億円とのことで、スケールの大きさに驚き、企画力、組織、人材の投入、資金調達等について、諏訪市でも参考になる点が多々ありましたので、今後生かしていけたらと考えます。

最後に、鹿児島市の空き家等の対策については、人口60万人の県都であり、諏訪とはスケールが違いますが、空き家条例の制定や空き家アドバイザー制度は参考になりました。(文・増澤義治)



都城市の市場を視察

社会文教委員会

平成29年10月17日(火)～10月19日(木)

■視察地とその内容

長崎県佐世保市：「新させぼっ子未来プラン」

佐賀県武雄市：「武雄市図書館・こども図書館」「武雄市ICTを活用した教育」

長崎県諫早市：「スクールネット」

佐賀県武雄市は温泉街があり、人口も5万人ほどで、諏訪市と似た規模でありながらも、温泉宿もさびれず、部屋を取ることも困難なほど、視察バブルが起きています。今回視察した「武雄市図書館」は、Tポイントカードや蔦屋でなじみのCCC(株)が企画から携わり、飲食のできる多目的な図書館として話題を生みました。それを実現させたのが、2006年に最年少の市長として就任された、前市長の樋渡啓祐氏です。「10の施策のうち、3つでも成功すれば良い。」と積極的にチャレンジしました。今も武雄市の影響者です。

また、同市で視察した「ICT教育」も、子ども達の家庭学習の時間が少ないという実態を踏まえ、学校と家庭をいかに繋げていくか考え、話し合いや学び合い活動といった協働的な学習を進めていくために「反転授業」の予習動画の活用をタブレットPCで実施しています。授業が一層革新する中、子どもたちの家庭学習習慣の確立に役立ち始めています。(文・森山博美)



武雄市の職員から説明を受ける議員

代表質問

各グループ（会派）が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。



創生すわ
近藤 一美

●駅前開発3階公共スペース、駅周辺再開発について

問 進捗状況及び今後のスケジュールは。

答 12月1日に地鎮祭が行われ、建築工事が着工された。同日8回目の市民ワークショップが開かれ、4グループに分かれ今までのまとめが報告された。今後はこの提案を尊重する中で、12月中に機能や配置案を作成し、1月から2月にかけて※パブリックコメントを実施し決定していく。

※パブリックコメント：計画等の案を示し、広く市民から意見等を募集すること。

問 建物取得費、内装費、共益費の算定については。

答 駅前開発や施工業者から積算根拠等の提出を求め、適正価格であることを確認した上で決定していく。

問 今後の管理体制は。

答 平成30年4月に専任職員を置いた専門部署を設けて対応していく。

問 駐車場が不足するのではないかと。

答 400台確保している。

要望 駐車場の更なる確保と、3時間無料制度の継続をお願いする。

問 上諏訪駅橋上化6案の研究報告書については。

答 橋上駅の種類として完全な橋上駅と半橋上駅があり、多額な費用と関係者との調整が必要であるためすぐに着工できるような状況ではない。連続立体交差事業についても結論が出たわけではないので、長期的な視野に立ち検討を重ねていく。

問 東バル跡地に県施設としての多目的施設を誘致する考えは。もどづくり産業の拠点として工業

メッセ等の施設、諏訪美術会の発展のため、県展が開催できる多目的ホール、音楽愛好者や子供の情操教育のための音楽ホール等の施設を提案する。

答 多額な費用（数十億円以上）が掛かる事業なので、駅周辺市街地あり方検討会で方向性をまとめていきたい。

●霧ヶ峰賑わい再生について

問 キッズパークの名称公募の結果は。

答 50通の応募があり、「スノーキッズ霧ヶ峰」に決定した。



4台のスノーマシン(人工降雪機)がフル稼働！迫力あり！

問 具体的なPR方法は。

答 諏訪市の他に、岡谷市、下諏訪町の小学校にパンフレットと割引券を配布した。市のホームページ、フェイスブック等で積極的に情報発信をしていく。

問 廃屋ホテルの撤去について

答 法的な問題が解決することを前提に、解体する意向である。

要望 長年の懸案事項なので、平成30年度には着手していただきたい。

●ふるさと納税、産業振興について

問 総務省通達後の状況は。

答 9月までは前年を上回っていたが、123品目を除外した10月からは、寄付金額は半減している。

問 今後の対策は。

答 新しい試みであるかりんちゃんバスのラッピング費用を調達するための手法が成功したので、今後企業版ふるさと納税制度の活用も検討し、重要な自主財源なので積極的に取り組んでいく。



未来のすわが監修製作した
駅舎の検討用模型

問 全国で5000人、茅野市でも15人いる地域おこし協力隊を導入する考えは。

答 効果が見込める事業があるか前向きに検討していく。



未来のすわ
小松 孝一郎

● 諏訪の玄関である上諏訪駅舎改築について

問 市は上諏訪駅橋上化検討の報告書を提出した。安全性や周囲との関係展開等の詳細検討は不足していると思われるが、一定の評価はする。しかし、連続立体交差の意見もあり、未だ方向性が示されていない。市はどのような観点で検討していくのか、日程や進め方

は。

答 報告書は橋上化の手法や現状課題をまとめたもの。橋上化実施の結論は出していない。実施の場合、専門家による技術評価など多方面からの検討や、JR・県・市民等との協議が必要。橋上化の研究とあわせ、連続立体交差事業についても検証研究を行う。長年の課題でもあり、早計に結論を出すことは困難。日程は未定。

問 駅舎の検証研究を進めるにあたり、周辺整備をどのように考えているのか。特に、いづれかの採用によって方向性の大きく異なる国道と5市道が交差する変則7差路である大踏切および西口から国道の接続は。

答 大踏切周辺と周辺道路整備について検討は必要。住民の意見も大切。西口―並木―国道のサンロードの整備は10年かかった。サンロードや柳並線の有効活用も検討したい。

● 周辺事業との関連は。

答 柳並線延伸、西口交通広場の周辺整備とあわせ進めることが必要。個々の事業というより全ての事業に関連性がある。駅周辺を俯

瞰（フカン）的に見て短中長期の見通しを立て取り組むことが大切。

要望 調和のとれたまちづくりのため、市街地整備計画の策定を前回に続き要望する。

● 消防団員の確保に向けて

問 消防団は日々の防災活動、豪雨火災等有事の対応に頑張っている。団員は登録上860名だが、有事対応や訓練等では遠地勤務など諸般の事情で人員確保が難しいと聞く。自己犠牲や家族の過度な協力の上に成り立つ消防団活動には無理がある。団員確保のためにも団員に対する補助や優遇制度が必要だが現状は。

答 団員婚活BBQを10月に開催し、8組のカップルが誕生。18の商店企業が協力する消防団サポート事業を行っている。

問 団員や団員対象者は妻子がいる人が多い。消防団の家族向けイベントなど、団員の家族をサポートする制度や団員に対する更なる優遇制度が望まれるがいかん。

答 スキー場やすわっこランドの

割引券を配布しているが、消防団への市民や市の感謝の気持ちを表せる制度を検討していきたい。



日本共産党
諏訪市議員団
廻本 多都子

● 平和都市宣言をしている諏訪市の平和施策について

問 安倍政権のもと平和憲法である9条を変えて、自衛隊がアメリカ軍とともに世界中どこにでも出かけ、武力行使ができる道へと進んでいる。しかし、現憲法（9条）を変えるなどという声が世論調査でも過半数を超え、「全国3000万署名」の活動が政党、市民グループ、個人で進められている。こういった状況での市長の見解は。

答 北朝鮮のミサイル発射など、東アジアの緊張の中で、安保体制

の重要性から、自衛隊を憲法へ明記し、存在を憲法上しっかりと位置づけることが安倍内閣の狙いであるが、一方で国民の中で9条改正への様々な懸念も示されている。



「非核平和宣言都市」宣言塔(看板)

問 平成29年7月7日に国連で「核兵器禁止条約」が決議され、ノーベル平和賞では、核兵器廃絶のために活動してきたICAN（NPO法人）が受賞の運びとなった。戦後72年、広島・長崎の被爆者は、この運動を地道に続けてきた。昨年より「国際ヒバクシャ署名」に取り組んでいる。核兵器禁止の流れはここまで来ているが、これに対して市長の見解は、**答** 核廃絶はもちろんであるが、保有国、非保有国との溝が埋まっていない。様々な過程の難しさがある。行政としての署名の支援ではなく民間主体で活動を進めていきたい。

●国民健康保険制度運営の 県への移行（単位化） について

問 県に運営が移行するとどう仕組みが変わるのか。保険料は市の運営協議会へ諮問し決定していたが、これに対して変化はあるか。

答 制度の変化はなく、自治体が保険者として行っていたことの一部が県に移行する。今まで通り、保険証の発行や保険税率（保険料）の決定は、各自自治体で行う。

問 医療費の給付のため、県へ納付金を納めるが、一般的に保険料が上がると懸念されている。国は保険料の急激な上昇や赤字補てんなど、法定外の一般会計からの繰り入れをして維持をすることを認めた。諏訪市は今まで1回も一般会計から繰り入れをしていなかったが、今回は繰り入れをして、保険料の2年連続アップにストップをかけてはどうか。

答 保険料の急激な引き上げに合わせ、激変緩和措置があるが、一般会計から繰り入れして保険料を抑えると翌年の激変緩和の計算に影響していく。国もやむを得ずしばらくの間繰入を認めるといふもので、市としては慎重に判断する。

用語解説

請願・陳情

請願・陳情は、市民が市・県・国に対して要望や意見があるときに、その実現に向け文書で提出する制度です。

請願は、法に基づくもので議員の紹介が必要です。一方陳情は、誰でも提出することができます。個人でも団体でも構いません。ただし、各市によって取扱いのルールが違うため、注意が必要です。提出された請願や陳情は、関係委員会で意見を聞き審査します。認められた場合は、市長や関係部門に送付し、その実現に努めるよう要望します。国や県等の関係機関に対しては意見書を提出するのが一般的です。意見書は、住民代表である議会の総意として尊重されます。皆さんにも使っていただきたい制度です。

〈諏訪市での請願・陳情の審査の流れ〉

請願

➡

議員の紹介
請願書作成

➡

議長が受理

➡

議会運営委員会で取り扱い協議

➡

本会議で常任委員会に付託

➡

常任委員会で事情聴取・審査の採決

➡

本会議で議決

➡

提出者に結果の報告
意見書がある場合には関係機関へ送付

陳情

➡

陳情書作成

➡

議長が受理

➡

議会運営委員会で取り扱い協議

➡

本会議で常任委員会に付託

➡

常任委員会で事情聴取・審査の採決

➡

本会議で議決

➡

提出者に結果の報告
意見書がある場合には関係機関へ送付

一般質問

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。



宮下 和昭

● 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

問 重要業績評価(KPI)に対する市長の考えと評価は。

答 今回の検証は、平成28年度の事業実績を踏まえ、4つの柱と基本目標及び各施策の82項目のKPIなどの効果検証をした。「製造業の従業員数」や「工場等立地促進助成金の申請件数」などは目標値を達成できた。「努力が必要」となったのは「大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数」で、首都圏に出た学生が地元に戻らず就職してしまいう傾向があり参加者減となった。「順調」となった「保育所の待機児童数」については、これまでに引き続き0人を維持できた。防災やまちづくり等暮らしに関連する事業も「順調」「おおむね順調」が8割を超える結果となった。有識者会議の皆様からは、人手不足につ

てのご意見や、小中学生のキャリア教育が重要であり、今後も必要な取り組みであるなどのご意見をいただいた。これらのご意見も参考に、今後も引き続き各施策を推進していく。

● 防災対策の見直しについて

問 諏訪湖氾濫の歴史を踏まえ内水排除ポンプの点検は。

答 平成30年3月には箇所数が43カ所となる。総点検は年に1回専門業者により実施している。市も冠水の発生しやすい箇所の動作確認やランプ点灯確認を行っている。

問 地震予知見直しに伴う避難情報の方、見直しは。

答 国、県の基本計画の見直しを受けて、市の地域防災計画を見直ししていく。

● スマートインターについて

問 進捗状況と今後の見直しは。

答 平成29年7月に地元の皆様と現地踏査を実施した。今後は県、



スマートインター上り線出口予定地

岡谷市とも協議・調整を行い、年明け以降に具体的なルート案を提示していきたい。



水野 政利

● 2025年問題対策

問 2025年に団塊の世代が75歳を超えるが、社会保障費の急増への対応は。

答 健康長寿を目指す方針で健康診断の普及で医療費を抑制する。医療と介護の連携で不安を縮小す

る。本市は大きな課題を乗り越えられる可能性を持っている。

問 2025年問題が招く主要4項目の概要は。

答 ①人口減少問題は、人口減少や人口構造の変化の影響が大きい。②医療問題は、高齢者の増加で、医師・看護師等の人材不足や従事者の高齢化と在宅医療や介護サービスの不足が懸念される。③介護問題は、市の調査では要介護者の介護者は配偶者が29・5%と最多で、主な介護者が60歳以上の方は70・8%を占める。認知介護の対策が急務。④社会保障費の増大問題は、高齢化社会の進行により増加の一途で、対策が急務。

● 子どものいじめ対策

問 子どものいじめ対策で、長野県ではLINEを利用したいじめ・自殺相談事業を施行したが、市の所見は。

答 相談件数の大幅な増加に対し、子どもたちの「相談したい気持ち」に対応でき、いじめのきっかけや経過の確認に有効。

● 道路の管理業務

問 道路の破損情報を受ける「情



損傷を確認 修理待ちのマーク

報道システムあずみの概要と同システムの導入は。

民間会社のアプリを使用し、市民の皆さんからスマートフォンで道路の破損情報を投稿する仕組み。市民が伝えやすく、写真や位置図が添付され現場確認が容易で、市民と市が情報を共有し問題を解決できる。今後導入費も含め研究したい。

【問】「結婚新生活支援事業」の概要は。

【答】平成27・28年度の制度で、新規に婚姻した世帯の世帯合計所得が一定額未満の場合、住宅取得・賃貸費用及び引っ越し費用の24万円を補助する。



小林 佐敏

●持続可能都市であるためには市民参加が必要だ！

【問】市民協働のまちづくりには、市民参加型の講座や講演会、交流会の開催が重要だが状況は。

【答】講座や講演会は数多く実施しているが、取りまとめは十分でない。10年が経過し、取り組みを検証する時期に来ていると感じている。

【問】新たな芽が生まれ、課題が分かりやすく見えるように、「市民協働事例集」を発行できないか。

【答】市民の方に協働のより具体的なイメージを伝える方策のひとつとして、前向きに考えたい。



協働によるほたるの里

●老朽化した児童遊園の点検と活用転換の検証を！

【問】老朽化した児童遊園の遊具が

危険。早期に点検し、場合によっては廃止や高齢者向けに活用転換等を検証する時期に来ていると思うが。

【答】職員や地元区で点検しているが、ベンチ等別の用途で有効活用できる箇所があれば提案を。

●防犯灯「LED化」補助制度新設へ！

【問】住宅街などの防犯上の安全確保や経費削減にもつながる防犯灯の「LED化」補助制度を始めないか。

【答】区の費用負担や維持管理面でもメリットがあり、寄付を受けている企業からも活用希望があるので、来年度より防犯灯LED化へ向け補助金制度を新設する。



牛山 智明

●今後の農業について

【問】日本の農業は、高齢化、担い手不足が深刻化している。対策として農業者の育成、農地集約、集

積、農地管理が必要となるが、耕作放棄地の指導、指摘は。

【答】農業委員会にて、パトロールの実施、所有者に郵送での利用意向調査、直接の聞き取り調査を行い、管理をお願いしている。

【問】認定農業者の育成と確保状況は。

【答】現在33名が認定、内農業経営基盤強化資金利用者6名、経営所得安定対策交付金対象者7名。支援措置もあり、増加傾向にある。

【問】下澤線（有賀／浜崎区間）諏訪湖側第3工区農地をターゲットに集約・集積の考えは。

【答】大区画化しながら経営規模の大きな担い手に集積・集約を図るには適地である。県・諏訪平土地改良区と共に集積・集約化に向けた研究、検討を進める。

【問】農業用水路の補修への支援は。

【答】農業関係者、地元区が農業用水路の補修を行うためのパイプ、U字溝などの原材料支給をしている。業者施工が必要な補修については、要望を聞きながら市の発注により修繕工事も行い、支援している。

●小中学校の集団登山について

問 富士見中学校で今年度集団登山を廃止したのはなぜか。

答 中学校の統合時にそれぞれの行事を全て詰め込んだ所、2年生の段階で登山をする余裕がなかったためである。

問 今後の課題進め方は。

答 諏訪市では登山をやめる予定はない。子どもの体力、安全面について不安に思う方もいるが、最大の配慮をする。ふるさとの山に登り、なんとも言えない達成感を味わうことを大事にして進めていく。



ふるさとへの山に登ろう



森山 博美

この5年で外国人観光客は4倍となり、諏訪市でも大きな消費を生むはず。夏の諏訪湖と言えば、「湖上火火」が最大の魅力。

●「諏訪湖祭湖上火火大会」を含む諏訪湖の観光戦略について

問 花火終了後の渋滞の引けが早い、湖畔に人が少ないという声がある。また、山の日の新設により、人の動きにも変化がある。日程変更は考えないのか。

答 市民のための花火大会という趣旨や、「平和を見つめなおす大切な機会」という点からも、開催の日は変更しない方向。

問 50万人規模のイベント開催のサポート人員の数については。

答 今年は、ボランティアとして消防団310名、安協・安全会66名、長野県福祉大学校32名、八十二銀行4名。その他警察官154名、医師・看護師11名、警備員は394名。

問 赤字打開策については。
答 反省会でも意見が多くでた。栈敷席の見直しなど、研究、検討していく。

提案 全国からの花火ボランティアの募集。無料駐車場への駐車場整備協力金としての有料化。有料席の再入場券の廃止。招待席の縮小と、市民抽選席の拡充。車椅子席の指定化とイス席の確保。ペット可能席・撮影三脚可能席の確保。「諏訪湖クリーン協力金」と称したチケットの値上げ。ホームページの多言語化と紙媒体のプログラムの見直し。プログラムのマンネリ化に対する工夫ある演出。



迫力満点！

反省会の声は、職員の声であると思うので、次年度に同じ反省が無いように行ってもらいたい。

問 湖畔公園の駐車場の調査や、有料化、東バル跡地の駐車場化は。

答 駐車場の調査は不定期で行い、有料化は検討したが難しく、

跡地利用も難しい。湖畔整備は、県と連携した計画の上で2市1町と「かわまちづくり支援制度」を使うべく国への要望活動を行っている。



奥野 清

●情報化社会での学校教育

問 文科省のICT（情報通信技術）教育の取り組み趣旨は。

答 子どもの主体性、自主性を磨き、思考力・発見力・表現力を育むことが目的。情報化社会の対応力を育む。

問 本市のICT教育の現状は。

答 必要な周辺機器はある程度設置している。市内の全小中学校にパソコン教室を整備し、一人一台操作ができる環境を整え、授業を通じた取り組みもしている。

●四賀小学校の施設不備が問題

問 四賀小学校の校内雨漏り、ト



環境整備が必要な四賀小

イレの臭気対策、中庭排水路の整備不良は以前から生じており、未だに改良されていない状況。教育環境や防災面において非常に問題である。対処は。

答 普通教室は築49年経過、雨漏りはコンクリート劣化に起因すると思われる。トイレの悪臭漂流は排水管等の根本的な問題がある。中庭排水路の機能不足は、発生原因が不明。いずれも、抜本的工事が必要と認識している。四賀小は、ここ数年は毎年修繕工事を実施している。更に専門業者等を介して対処方法を研究する。

●所有者不明土地や空き家状況と若年層の政治参加

問 所有者不明の土地や空き家が、税金や公共事業への影響と言った点で、全国的に問題視され

ている。本市の状況は。
答 本市においては、今のところ土地や空き家について所有者不明の状況は存在しない。

問 若年層の政治参加意識高揚に向けた取り組みは。

答 今回の衆議院選挙は、急な解散であったため十分な啓発が出来なかったが、いろいろな手段を講じて、政治参加への啓発に努める。



山田 一治

●柳並線延長に伴う周辺整備の促進について

問 柳並線延長工事の推進状況は。

答 柳並線の延伸計画は、発表後色々な団体から賛同の意見をいただいた。9月議会において補正予算を承認され、10月に測量設計業務を発注。現在準備段階で年度内に業務完了となるよう進めている。次年度、用地測量及び物件調査を行い、平成31年度に関係地権

者との補償契約を締結、その後平成33年3月の供用開始を目標としている。

問 柳並線延長に伴う関係地区への説明状況は。

答 関係地区へは、8月に概要説明をした。今後は現在行っている測量及び設計業務の成果をもって、地元地区に改めて説明する。本事業については、市民や諸団体からも協力の声上がるなど注目をされており、諸団体からの要望やご意見を頂戴しながら連携・協力をして取り組んでいく。

問 柳並線延長には、駅西口の開発整備が必須。整備の事業費については。

答 整備するとすれば、どのような範囲で、どのような広場にするかによってかなりの差が出てくる。それらを見極めてからの検討となる。



柳並線周辺地図



吉澤 美樹郎

●大規模災害への市の備えは

問 有事に備え、地域防災計画、業務継続計画が有効に機能するための検証をどう行っているか。

答 図上訓練、地震総合防災訓練等の実施に伴い検証を行っている。結果として訓練の内容が実践的になった。



地区防災訓練(火災時の避難体験)の様子

問 大規模災害時には、生活必需品などの不足が懸念されるが、市の備蓄状況は。

答 市内8カ所の防災倉庫、広域避難所、福祉避難所等に生活必需品や活動資機材を備蓄している。非常食については人口の5%×2日分を目安に備蓄。

問 個人の備え、避難の方法や食料等の備蓄方法など、積極的に市民へ発信すべきだと考えるが対応は。

答 避難の方法については防災訓練への参加を、食料の備蓄方法に関しては※ローリングストック法による備蓄を呼び掛けている。

※ローリングストック法：備蓄した食料を定期的に消費し、使用した分を補充していく方法。

問 平時よりボランティアの受入窓口、地域間の人材の調整など人の連携に対する体制づくりが必要ではないか。

答 被災時の混乱を避ける訓練、人材の把握、地区を超えた連携などはこれから重要になる、必要な体制作りを検討していく。

●ユニバーサルデザインに基づく道路整備への考えは

問 歩き易く、安全な歩道を望む声が多く寄せられる。日々の生活はもとより、健康増進、観光振興の面からも改善が必要である。利用目的の高いルートを拾い出し、優先順位を上げて整備してはどうか。

答 様々な利用実態のデータは取っている。目的の重なる部分に分かれば効果的に整備が出来る

と思われるので、今後、検討していきたい。

問 サイクリングロードの計画が進んでいるが、湖周を中心に歩道と同様の観点から整備が出来ないか。

答 諏訪市の特徴を生かしながら、安全性と利便性を兼ね備えた利用者しやすい計画を検討していきたい。



●家庭系可燃ごみの有料化について

問 新聞報道によると、平成30年1月の市廃棄物減量等審議会で検討するとしているが、有料化の理由は。

答 11月に開催された審議会において一つの課題と説明したが、即有料化との結論ではない。一般論では、ごみ減量、負担の公平、意識の向上などがある。

問 家庭系、事業系ごみ量の推移

は。

答 家庭系、事業系ともに5年連続で減少しているが、事業系は経済情勢の影響を受け、増加することもある。



ごみの分別指導の様子

問 有料化による不法投棄の懸念は。

答 有料化実施時期に不法投棄が増える傾向があることも認識しているが、それを理由に有料化しないということではない。

要望 保険料や水道料の値上げが心配されている。市民生活への配慮を。

●芸術・文化支援について

問 市民の文化活動や鑑賞の機会を保障することが大切。諏訪美術展を文化センターで開催する際の

不便・不都合の現状と対策は。

答 展示パネルの設置や照明効果などについて不便がある。パネルの購入については、文化センターの機能向上の一環として検討する。

●介護保険の課題

問 障がい者の65歳の介護保険優先原則は、新たな負担増、サービスの低下が懸念されるが、市の対応は。

答 障がい福祉サービスの継続、上乘せ等の対策を実施する。

問 介護保険料の滞納に対する給付制限の現状は。

答 給付制限を受けないよう分納をお願いしており、給付制限を受けている人はいない。



●「※我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現に向けて

問 諏訪市として、地域共生社会の地域づくりをどのように進めて

いくつか。また、課題は何か。
答 地域福祉計画策定にかかる地域福祉懇談会などあらゆる場面を通じ、「我が事・丸ごと」の地域共生社会に向けた周知及び啓発を行う。民生児童委員や社協、「ライフドアすわ」をはじめ、医療や介護、福祉等に関係する様々な方々に協力をいただきながら、住民の方々と一緒に、それぞれの地域の実情に応じた地域づくりを模索する。オール諏訪市の取り組みをより一層進めていく。

問 初島へ浮橋を設置し、湖上を歩いて渡るといふ考えはないか。
答 諏訪湖は一級河川であり、花火大会における打ち上げ施設の増設が難しい中で、浮き橋の設置もハードルが高いものと考ええる。

※我が事・丸ごと：地域で起きている様々な問題を、他人事ではなく「我が事」ととらえ、「丸ごと」受け止めようという考え。

●柳並線延長後の観光客の導線について

問 湖明館・鶴遊館通りへ観光客を導く方策等の考えは。
答 観光客を導く具体的な方策として、道案内看板や歩道へのサイン整備等ハード面の整備が考えられる。

湖明館マルシェ等も一案だと思うが。
答 民間を中心とした事業展開を期待。行政としては、イベント補助金等による支援のスタンスが望ましい。

●30・10運動について

問 諏訪市の中での30・10運動の取り組みは。
答 飲食店組合や旅館組合に対し、協力店登録をするよう働きかけをしていく。登録だけでなく実践していただけるように、各団体とも連携して取り組んでいく。



有るを尽くしましょう

問 部活動の顧問が先生たちの負担になつていないか。地域の方に担当してもらおうなどの考えは。
答 朝部活をやめる、ノー部活動の日の設定など実施している。一方で部活動専任制、社会体育の明確な区別化なども取り組んでいるが、進んでいない部分もある。地域総合型スポーツクラブの設置への取り組み、部活動に対しての意識改革などの議論が今後必要である。



伊藤 浩平

●学校の働き方改革推進は

問 「学校における働き方改革推進のための基本方針」についての

考えは。
答 働き方の改善は県が責任をもつて取り組む事業であるが、市としても県と連携し関わっていく。教師という職業は子ども第一の精神で行うものであり、単純に時間だけでは線引きできない所もある。長時間勤務が常態化していたことにメスを入れる改革は大事なことだと認識している。

問 部活動の顧問が先生たちの負担になつていないか。地域の方に担当してもらおうなどの考えは。
答 朝部活をやめる、ノー部活動の日の設定など実施している。一方で部活動専任制、社会体育の明確な区別化なども取り組んでいるが、進んでいない部分もある。地域総合型スポーツクラブの設置への取り組み、部活動に対しての意識改革などの議論が今後必要である。

●全小学校で※フツ化物洗口実施へ

問 四賀小以外の小学校でのフツ化物洗口実施に向けての取り組み状況は。
答 歯科医師会の協力体制もでき、各学校の教師へ説明を行っている。今後保護者に対しても丁寧な説明を行い、平成30年6月以降

から夏休み前までには市内全小学校で実施ができるように、市歯科医師会などのご協力をいただきながら進めていきたい。

問 フツ化物洗口の取り組みを、保育園、中学校でも実施し、幼児期から中学生まで継続的な実施としては。
答 小学校で実施したあとの検証結果を見て検討していきたい。



四賀小でのフツ化物洗口の様子

問 運転免許自主返納者または高齢者に対してバスの定期券（1ヶ月1500円、2000円など）を発行しては。
答 高齢者が外へ出ること、足の確保は福祉施策としても重要である。財政面、他市の状況を見て研究する。

※フツ化物洗口：低濃度のフツ化物水溶液で一定時間がいをする事で、虫歯を予防する取り組み。



議会だより

モニター通信

議会だよりモニターの皆様にご意見、ご質問にお答えします。

すわ市議会だよりの編集は、6人の議員からなる議会だより編集委員会にて行われます。

12月に行われた編集委員会では、モニターからいただいたご意見について、熱い議論が交わされました。



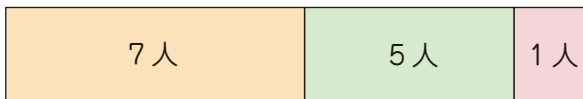
第70号のアンケート結果は以下のとおりです。

■ 良い ■ まあ良い ■ 普通 ■ あまり良くない ■ 良くない
※無回答あり

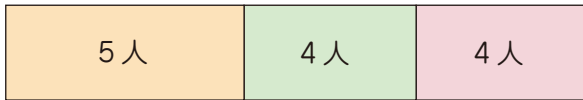
1. 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。



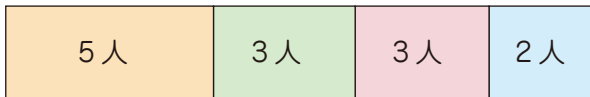
2. 表紙や見出しについてのイメージはいかがですか。



3. 紙面構成、レイアウトはいかがですか。



4. 写真や図の使い方はいかがですか。



ご意見

- 傍聴していない方に分かりやすいか検討を。
- 挿絵があることで子どもと一緒に興味を持ってくれた。
- ヘルプ解説や大きな表の使用など、随所に工夫が感じられた。
- 窮屈でなくゆとりを持った配置で読みやすい。
- 負の遺産も写真に出し、市民に知ってもらうことが必要。
- 用語解説は、一般市民が知らない議会・市政の仕組みをわかりやすく説明していてとても良い。
- 読まれる「議会報」の研究が必要。

ご提案

- 表紙の議員全員の写真がとても良い。続けて議会審議や傍聴席の様子まで紹介しては。
- 表紙については好評だったため、今後、議員活動の様子を主に載せていきたいと考えています。
- 道路を道路名だけで表示するのはわかりづらいので、地図を入れた方が良い。
- ご提案ありがとうございます。今後、取り入れていきたいと思いません。

■ご意見をおよせください！
 諏訪市議会では、議会だよりに対する市民の皆様からのご意見・ご感想を随時募集しています。お気づきのことがあれば、裏面下の電話・FAX 宛にご連絡ください。

訂正とお詫び



11月1日発行の「すわ市議会だより第70号」のモニター通信で掲載させていただいたご意見につきまして、下記のとおり誤りがございました。お詫び申し上げますとともに訂正をお願いいたします。

訂正箇所：15ページ その他の意見

誤 議会だよりなので議員の **答** にスペースを割き、**問** を数行で掲載してはどうか。

正 議会だよりなので議員の **問** にスペースを割き、**答** を数行で掲載してはどうか。

審議結果

《全会一致で可決・採択された案件》

- 報 告 第 9 号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 第 10号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 第 11号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 第 12号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 第 13号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 承 認 第 6 号 専決処分の承認を求めるについて(平成29年度諏訪市一般会計補正予算(第3号))
- 議 案 第 4 6号 諏訪市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 第 4 7号 諏訪市手数料徴収条例及び諏訪市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
- 第 4 8号 諏訪市営住宅等に関する条例の一部改正について
- 第 4 9号 工事請負契約の変更について
- 第 5 0号 平成29年度諏訪市一般会計補正予算(第4号)
- 第 5 1号 平成29年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 第 5 2号 平成29年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 第 5 3号 諏訪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 第 5 4号 諏訪市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 第 5 5号 諏訪市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 第 5 6号 平成29年度諏訪市一般会計補正予算(第5号)
- 第 5 7号 平成29年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)

※具体的な内容は、3~4ページの常任委員会報告をご覧ください。



議会を傍聴しよう!

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に諏訪市役所議会棟 2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。

3月定例会は、2月21日(水)招集予定です。
詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



議会に参加しよう!

議会に対して陳情書等を提出することができます。陳情書等の提出は、2月13日(火)正午までです。提出方法など、詳しくはお問い合わせください。



議会をテレビ・パソコンで見よう

諏訪市議会では、本会議をLCVの「かりんちゃんねる」で生中継しているほか、過去の映像をYouTubeにアップしています。

また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

3月定例会のテレビ中継日程予定	
月 日	会 議
2月 21日(水)	提案説明
2月 28日(水)	代表・一般質問
3月 1日(木)	一般質問
3月 2日(金)	一般質問
3月 16日(金)	委員長報告、採決

※中継日程は、変更になる場合があります。

委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
水野 小松 近藤 井上 牛山 伊藤
政孝 一智 浩平
利郎 美登 明平

議会だより編集委員

12月定例会では、大勢の方に傍聴にお出かけいただきありがとうございました。
感想を伺いましたら、新聞の活字で要約された内容より、議員の質問と市長・部長等の答弁のやり取りを直接見られ、緊張感も伝わり傍聴に来て良かったということでした。
また、現在の定数15名全員が出席していたのですが、議員席はかなりの空席があり、議員の出席率が悪いのではないかと、うご意見がありました。議場は30議席のままですが、定数は15名と半減しているので空席が出てしまいうわけです。
このように新しい気付きもありますので、ぜひ傍聴にお出かけください。

近藤 一美

編 集 後 記